

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 神経変性疾患における臨床指標・バイオマーカーの開発

【研究責任者】 高橋祐二、特命副院長・病院脳神経内科診療部長

【本研究の目的及び意義】

本研究の目的は神経変性疾患の進行度・重症度を反映する臨床指標・バイオマーカーを開発し、病態修飾治療の開発基盤を確立し、疾患の発症・進行にかかわる分子病態を明らかにして、治療ターゲットを同定することです。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方 これまで当院に受診歴のある神経変性疾患の患者さまが対象です。

情報等 診断名や性別、年齢、診察・検査結果など通常の診療で得られた臨床情報を集計し、今後新たに見出された神経変性疾患の診断や治療につながるようなバイオマーカーの有用性を検討します。

研究期間

倫理委員会承認後より2023年12月31日まで

研究資金

本研究は精神・神経疾患研究開発費「疾患レジストリ・網羅的ゲノム解析を基盤とした神経変性疾患の融合的・双方向性研究(3-4)、研究代表者 高橋祐二」「認知症・神経変性疾患の基礎・臨床融合研究(3-3)、研究代表者 岩坪威」で賄われ、また、これまでにAMED 難治性疾患実用化研究事業、研究課題名:霊長類疾患モデルを用いた運動失調症の病態解明と治療法開発(研究代表者 関 和彦 期間:2017年4月1日~2020年3月31日)、精神・神経疾患研究開発費(研究代表者 関 和彦、期間:2020年4月1日~2021年3月31日)で賄われ、特定の企業からの資金の提供は受けておりません。また、本研究に係る全ての研究者及びその配偶者などの家族は、本研究に関連する企業との間に経済的利害関係、雇用関係は一切ありません。従って、研究者が企業等とは独立して計画し実施するものであり、研究結果及び解析等に影響を及ぼすことはありません。本研究に携わる研究者等は、いずれも利益相反状態にないことを確認しています。

【共同研究機関】

近畿大学 教授 永井義隆

東京工業大学 教授 一瀬 宏

University of College London Professor, Edward Wild

2021年11月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

特命副院長・脳神経内科診療部長 高橋 祐二

〒187-8551 東京都小平市小川東町 4-1-1 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

042-341-2711 yutakahashi※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)